**現場の週報から（令和2年5月4日～5月31日）**

**【5月4日～5月10日】**

■デイサービスわかなの杜：猪狩健介さん

・新型コロナの影響により、様々な行事や活動を控えている状況ではありますが、このピンチを活かそうという試みが現場で始まりました。一人ひとりの想い・言葉を付箋にメモし『本人の声』をファイルにストック、この自粛状況が明けた時に、実現していきたいリストの作成が始まりました。その中には『買物にいきたい』『美味しい物食べたい』『人に会いたい』など、あたりまえの日常で我慢している事が多く声に挙がっています。しっかり予防対策を取りながらも、この状況が明けた時に一人ひとりの権理を応援できるよう、エンパワメント意識を持ち続けていきたいと思います。

■グループホームいずみの杜：菅澤宏紀さん

・コロナウイルスの影響でなかなか外出が難しいですが、天気が良い日には近隣への散歩にご利用者さんを連れて行く機会を設けるようにし、ご利用者さんも「久しぶりに外に出て嬉しい。」と喜ばれる姿が見られました。利用者さんの「食べたい」という要望から、今月はたこ焼きパーティを事業所で企画しております。美味しい物を食べたりして楽しみながらコロナウイルスが収束するまで室内でも有意義に過ごせるよう取り組んでいきたいと思います。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・宮城県のコロナ陽性者が少ないこと、非常事態宣言が解除されたためか、今までお休みだった方が再開となっています。これからも利用して頂くためにも予防対策をしていきたいと思います。

・以前も外来のトイレなど修繕してくださったHさんですが、今回の連休中に外来駐車場の白線ひき、車止めをしていただきました。事前に依頼しており「外来がない連休にするから」とご自宅から工具を沢山持ってこられ3日間で行っています。白線ひきは後藤さんも手伝いながら、その姿を見て他の利用者さんもお手伝いされております。本当にすごい方です。頭が下がります。元々作業がお好きなHさん。汗だくになりながらとても輝いておりました。また並行してDH向かいの畑も行ってくださっています。Hさんはジャガイモを植えたかったようですが、時期がずれさつまいもになっています。今後Hさんだけではなく、他の方も一緒に水やりやお手伝いが出来たらと思っております。



■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・10日母の日。ささやかですが、ケーキ作りをしてお祝いをしております。ガーデ二ング、野菜の苗植え開始。ベランダから見える花はとても癒しになっております。入居者さんと一緒に、少しでも楽しみを持ちながら生活出来ればと思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は筍の炊き込みご飯作りを行いました。2種類の味付けを行い、ご利用者からも「旬のものを食べられるって、いいね」と好評でした。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・10日母の日。ピザの広告をみて、入居者さんがたべたいとの事で皆さんで召しあってます。（テイクアウト)

・職員Yさんの自宅でなった竹の子、みんなにも食べてもらいたいとの事で竹の子ごはんにしてみなさんと召し上がりました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・10日は母の日ということで、8日には女性の皆さんに感謝の意を込めて皆さんでカレー作りをしました。スタッフが何日も前から箸袋にカーネーションの飾りをつけたり、テーブルに飾るお花を用意したりして装飾をしてくれたおかげで華やかな一日になりました。当日は、女性の方はお客さんというだけではなく、一緒に料理をしたい方に手伝っていただき、自宅では家族に遠慮して台所に入らないTさん、自宅でも料理するけど、ここでは見てるほうが好きなのとにこにこ話すOさん、『木べらがないとだめよ！』と私たちに指導するYさん、などなど、いろんな方に活躍していただき、あっという間に出来上がりました。何かを始めると自然と協力してくれる方や、自主選択の中で参加しない、みてるのがいいと話す方もいて、これこそ当たりまえの環境なのかなと思いました。もっと利用者さんの中から、今度はあれをしてみたい、という声が上がるように、今は色々と動き続けることが大切なのかなと思っています。

・今週は水曜に海鮮丼・お寿司のデリバリーを予定しています。以前97歳の方がいくらをお粥にかけて食べたいとおっしゃっていたので、美味しそうに食べる姿を想像するだけでわくわくします。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・8日に母の日イベントを行いました。昼食は皆さんのリクエストメニューの海鮮丼。普段小食の方もペロッと召し上がり満面の笑みで「毎日、母の日だといいのにね」とおっしゃっていました。お一人お一人にメッセージとフェルトで作ったフラワーBOXをプレゼントしました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・遠方にいるご家族からも心配の手紙が届いています。ご本人の写真と共に手紙を送っています。写真で顔を見るだけでも安心につながってくれればと思います。

・6日団子を作って食べようと話が上がり、団子作りをしました。茹でる前に口に運ぶ人もいましたが「うめーなー」と美味しいものを食べれたとき、出掛けられなく辛いところもありますが、笑顔がみれて良かったです。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・先日リスト化した「お会いできない方の近況報告」ですが、現在フロアの担当スタッフから本人・ご家族に提案しております。現在の進捗状況をふまえ、15日に独自にリスト化する予定です。初回のデータは予定のものが多く、今回ご本人・ご家族に確認することで配慮の様を変える等、その方に合った配慮の方法を確立できそうです。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・先週は、白玉団子作りをしました。女性陣で団子を作り、あんこと混ぜてあっという間にペロリです。「こうやって美味しい物食べたりしないとね」「今度は何作る？けど、やっぱり簡単に出来る物がいいわね。」等と、食べながら次に作る物の話になりました。今度はずんだの白玉なんかどうですか？と言うと「それいいね！」等と盛り上がり、枝豆・すり鉢・すりこ木準備しました。現在、ずんだ白玉作っている最中です。女性陣数名で皮をむき「薄皮もちゃんと剥かないと口に残るから」「こうやって先に潰して…」「ほら、こうやってすりこ木を回すのよ」等と、経験のない職員に丁寧に教えてくれています。明日は外で炭火でサンマを焼いて、昼食に出す予定です。「明日はサンマなの？えらい贅沢だわね」等と楽しみにされています。

**【5月11日～5月17日】**

■デイサービスわかなの杜：猪狩健介さん

・天候が良いので花壇と畑の手入れに力を入れております。お花が好きなご利用者より『花を植えよう』と、花壇を耕し、柵を並べてパンジーを植えました。本来であれば一緒に買い物に行ければよかったのですが、今回は職員が皆さんのリクエストを聞いて購入してきました。また、事業所周りの植栽には雑草が伸びていたので草むしりも行いました。一人が取り組むと、二人、三人と、自主的に参加して下さいます。急に気温が上がってきたので熱中症に気を付けながら活動していきたいと思います。

■老健いずみの杜：平澤文さん

・現在、ご家族様との面会が出来ていないことから、ZOOMでの面会を実施しております。また、ここ最近撮影した写真と共に、現場スタッフさんに書いていただいたお手紙を先週ご家族様に郵送しました。こんな状況でも互いに安心出来るように配慮していければと思っています。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・13日中華料理が好きな利用者、職員で近所の中華料理屋から出前を取って食べました。外食とはまた違った雰囲気で楽しんでいました。次回は22日にとんかつの出前を計画しているようで、職員、利用者ともに希望者を募っている状況です。カラーコピーしたメニューを張り出してメニューの脇に名前を記入しています。出来る範囲での楽しみ方を模索しています。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・先週の週報に記入した畑ですが、他の利用者さんにお声掛けを行い水やりを毎日しています。農家だった方からのアドバイスも伺い枯らさないようにしていけたらと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・今月はお誕生日の方が3名おります。ご本人の食べたい物を準備しながらささやかながら誕生日パーティをホームで企画しています。カラオケがお好きな方、お買い物が好きな方が外出できるようになるまでまだもう少し時間が必要ですが、お庭に花や野菜の苗を植えたので、天気の良い日は庭に出て気分転換をしていただいたり、外の空気を吸っていただけたらと思います。

■ケアホームいちいの杜：久保内大介さん

・17日Oさんと横浜に住まわれているご家族（ご長男とお孫さん）とZOOMを使って、テレビ電話しています。いつもはゴールデンウィークに来所され、顔をみてお話して安心して帰られるというのが、恒例ではありましたが、今年はそうはいきませんでした。Oさんの乳癌は進行してきているため、状態報告はこまめに電話にてしていましたが、ご家族は顔が見れない分不安を多く抱えていました。ZOOMを使用し顔を見てお話をすることで、ご家族も大変喜ばれ、「元気そうでよかった～。」と、一安心されていました。ご本人も少し照れながら「大丈夫だから。今度何か食べるもの送ってよ。」等とお話をしていました。驚くことに、ここ数日ご飯をなかなか食べられずにいましたが、その日の夜は一品だけ残してあとは全部召し上がっていただけました。離れてはいますが、顔を見て話ができることの力を感じました。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・13日はお寿司を出前していただきみんなで美味しくいただきました。始まりはTVをみていて、美味しそうと話す利用者さんの声。出前しますかとスタッフが声をかけ実現しました。『病院受診だったけど、終わったら来てもいいの？』と、いつもは受診の日は休みたいＹさん。もちろんですよ！と、スタッフ一同驚きました。そんな状況ならいつもは休むのに。。。海鮮丼に負けました。。。いつも小食な方も、自分で選んだ好みのお食事はどんどん進み、楽しみにしていた９７歳のＴさんもいつもよりたくさん召し上がっていて。。。美味しいものを食べて、美味しいねと共感できるってやっぱり幸せだなぁと感じました。　みやぎの杜は食べてばっかりじゃん！！と言われそうですが、当日は春を通り越して夏のようなポカポカ陽気に。近くの公園に藤の花を見に行こう！ということで、歩いて行き、季節感を味わっていました。今週からは一気に気温が下がるようです。体調管理をしっかりして風邪をひかないように皆さんにも声掛けしていきたいと思います。

■グループホームめぶきの杜：名取直保美さん

・しばらく家族さんの面会がありませんが、時間を作っては電話にて状況報告を行っております。環境が可能な家族さんや、毎週面会にいらしていた家族さんへはZOOM面会のご案内を行っており、早速自宅のPCの設定を行いましたとの連絡も頂きました。めぶきでもZOOM面会ができるよう、環境整備を進めていきたいと思います。電話でお話していく中で「消毒用アルコール間に合っていますか？」「お店で見つけたので買いました。皆さんで使って下さい」と送って頂いたり、「布ですが、マスクを沢山作りましたので、皆さんで使って下さい」と届けて下さる家族さんもおり、めぶきは家族さんにも支えられていると感謝の気持ちでいっぱいです。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・「今までと変わらない日常を送るためにどうしたらよいか」について、全体ミーティングとしてご利用者と話し合う機会をもちました。皆様からはこの時期なので昔のように行かないけど、調理して会食したり、麻雀大会や園芸作業、ゴーゴーダンスや社交ダンスをしたいと主体的な意見も出ております。また、全員で同じことをするのではなく、担当を決め少人数で奥和室に行き、縫物をする時間をつくる等、感染予防対策ばかりではなく、日頃の過ごし方を見直す案も出ておりました。スタッフは「今日みたいに、皆さんの想いを知ることが大事なんだよね」と、それぞれ対話の大切さを実感したようです。しばらくご利用者との全体ミーティングは続けていきたいと思います。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週は天気も良く皆さんで近所の散歩や、花の植え替えなどを行いました。Iさんの畑仕事も一段落し、年末に植えたスナップエンドウも収穫時期を迎え茹でてみんなでいただきました。

とても甘みがあり美味しかったです。

■グループホームゆかりの杜：梅村卓也さん

・14日ドライブ（天気も良くご本人達にお話し、3密にならない人数（4名）で対応（窓を開けてドライブ）。久しぶりにお出かけをし、本当に天気が良く気持ちが良かったとお話しておりました。ベランダで入居者さんと一緒にお花に水やり、日向ぼっこをしながらラジオ体操。天気が良く皆さんでして気持ちが良いねとお話しながら一緒にしております。今出来る事をしていきたいと思います。ガーデ二ング、野菜の苗植え開始。職員、ご本人達と一緒にしておりとても楽しまれております。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・お部屋のエアコン掃除を行っています。入居者さんの中には脚立を支えて下さる方もおり、普段何気なく過ごしていても、入居者さんい支えられて私たちも生活させていただいていることに改めて気づかされました。

■グループホームはるかの杜：木村優さん

・16日秋保ドライブ。17日仙台新港ドライブ。皆さん、それぞれとてもいい表情をされておりました。

■ケアホームさくらの杜：志賀千春さん

・11日バーベキューの企画でしたが、風が強いため、出来ませんでした。室内で、ホットプレートで野菜やお肉を焼き食べたところ、普段少量しか食べられない方も、沢山食べられていました。久しぶりのことに、皆さん笑顔がたえなかったとのことでした。

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・訪問理容あり。入居者の皆さんも「すっきりした！」「やっぱり短い方がいいな！」といつも以上に会話が弾んでいました。給食センターよりチーズオムレツをいただきました。その数60個。「今の学生は洒落たものを給食ででたべているんだなぁ～。俺たちの頃はにぎりめしが基本だ！！」と、これまたいつも以上に会話が弾み大きな笑い声が響いていました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・以前ご利用されていたIさんが、利用再開されました。昼食の料理担当を主に職員と一緒に行っていただいてます。包丁さばきは見事で、キャベツの千切りはプロ顔負けです。お年寄りでも食べやすいくらいの細さです。職員やご利用者のご家族から自宅で取れたタケノコを頂きました。ご利用者のリクエストでタケノコの天ぷらとたけのこご飯を作って皆さんと食べました。また、給食センターから、ゴボウやジャガイモを頂いたので、ゴボウを沢山使って混ぜご飯にしました。外食ができなくても、旬の食材で季節感が味わえました。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・1階に続き、2階でもずんだ白玉を作りました。体操や作業など「俺はしね～」「目がみえねんだ」等といつも腕組みをして見学するだけの利用者さんも、やはり「俺しね」と言われましたが、実際の枝豆を本人の横に持ってきて、職員が話をしながら皮をむき始めると、農家魂に火がついたようで自然に手を伸ばし「俺も枝豆うんと作ったんだ～」「畑も田んぼも何でもやったんだ～」などと、昔話も盛り上がり、手も止まらず薄皮も剥かれていました。実際に剥いた豆を見て「俺がやったのか？」等言われ、職員からお礼を言われると嬉しそうでした。豆を潰す作業は「ダメだ。力が入らない」等と言われ職員がしましたが、すり鉢を支えてくれたり、苦戦する職員を応援したりとワイワイと作れました。味見をして「大丈夫！100点」を頂き、みんなで美味しく食べました。

・12日のサンマ焼きもお天気に恵まれて、外で煙を浴びながら「ほらこっち焦げてる」「あら～いいあんばいだ」「炭が弱いから少しあおぐが？」等手伝ってくれる方、外で一緒にいい匂いを嗅ぎながらニンマリと焼けるのを待つ方など様々。１階は急遽ごはんをおにぎりにして、外で昼食を食べました。「たまにはこういうのもいいね」「今日は風も強くないから、外で焼いたサンマを外で食べるなんて凄いね」等と会話も弾みました。2階ユニットの方も炭で焼いたサンマは大好物で、皆さん美味しいと満足した様子でした。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・17日利用者さんと職員が一緒にマリーゴールドの花をプランターに植えています。最近は利用者さんも土に触ることが少なく楽しみながら行われていました。笑顔も見られ会話も楽しそうでした。

■杜の家みやぎ：佐藤新平さん

・先週、ご利用者さん少人数で園芸センターへドライブへ行ってきました。（三密に気をつけながら）天気も良く、久しぶりのドライブで皆さん笑顔が絶えず楽しい時間を過ごすことができました。今後も感染予防を徹底しながらご利用者さんが笑顔になるイベントを企画していきたいと思います。

■特養ふたばの杜：千坂祐さん

・ZOOMの家族の意向調査について、電話にて聴き取りを行いました。15日にタブレットを導入していただいたので、早速、16日に実践しました。Wさんが誕生日ということで、福島の娘さんとZOOMを通して面会を実施しました。事業所の電波環境とスタッフの操作手技、ご家族の設定内容で安定的動画での面会までといきませんでしたが、それでも数秒ではありましたが顔を合わせることができました。ありがとうございました。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・15日三密にならないように3名の方とドライブへ行きました。白石の藤の花がきれいな所へ。午後の時間で誰もおらず、車から降りてゆっくりと藤棚を眺めて帰って来ました。Hさんから「昔仕事に通った道を通って懐かしく感じました」と言っていただきました。　緊急事態宣言が解除になり人の足が多く、出掛けている人も多くなってきています。なお気を引き締めていきたいと思います。



**【5月18日～5月24日】**

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・先週1週間は天気が悪く肌寒い日が続き、利用者さん・スタッフの体調管理が心配されました。しつこいように手洗い、うがい、消毒！今の時期に風邪をひくと紛らわしいので、頑張って予防しましょうと声をかけました。また、天気が悪いので景色を見にドライブ・・・というわけにもいかず、1週間屋内でおとなしーく過ごしました。そんな中で、家からお花(つつじ、シャクナゲなどなど)を持ってきて下さる方がいて、雨で暗くなりがちなところをぱっと華やかにしてくれました。また、みやぎの杜の園芸担当のSさんとスタッフ古川さんで、せっせと花植えや畑作り。そして、Nさんには来所された際には水やり当番をお願いしたところ、快く引き受けてくださり、『できることは何でもやらせてください』と頼もしい一言を頂きました。通常デイサービスで男性同士の輪はなかなか広がらないものですが、ふと気づくとSさんとNさんが、景色をみながらたたずんでいる後ろ姿を発見し、園芸を通してSさんとNさんが仲良くなるきっかけになったのかなと思います。男性ならではの、『仕事』を通してお互いを認め合う、そんな場面に遭遇したように感じました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・コロナ禍の中ですが、お年寄りと一日の過ごし方を相談したり、今日のおやつは何を作りますかなどRBAの視点での言葉掛けが平常時より、明らかに増えてきていると感じます。また、今回利用にあたり家族の協力を得てサービス調整させて頂きましたが、やはり家族の要望をすぐ受入れてしまい、過度なサービスになっていたこともあったかと思います。当事者の方と話し合いながら今後のゆづるでの利用などを一緒に考えていく、良いきっかけと感じている今日この頃です。

■老健いずみの杜：平澤文さん

・23日よりご家族面会開始となっております。約2か月ぶりの直接の面会とのことで、ご本人、ご家族共良い表情をされていたのが印象的です。夜間腕の痛みの不安があり眠れない利用者さんも、面会があった日の夜は朝までぐっすりだったようです。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・24日の午前中に二家族のご面会がありました。ご入居者おひとりおひとり「あら～よくきたこと～」「久しぶりに会えて嬉しいこと～」と満面の笑みでご面会をされております。ご家族より「久しぶりに会えて安心しました。職員のみなさんも予防対策で大変にもかかわらず、こうして面会できる取り組みをしていただいて感謝します。」「まだまだ安心はできない状況の中、面会ができると思っていなかったので面会等のご案内をいただいて嬉しかったです。職員のみなさんもどうかお身体に気を付けてくださいね」と温かいお言葉をいただいております。ご面会時間はご家族の配慮にて10分以内で終えられていますが、貴重な時間を過ごすことができました。今後も感染予防対策を十分に行い、気のゆるみのないよう取り組んでいきます。

■いちいの風：亀澤加代さん

・22日以前から企画していたおやつ作りを皆さんと行いました。どら焼きの生地を焼く方、あんこを乗せる方、あんこを分ける方、それぞれ分担し、協力してできたどら焼きは、いろんな大きさに仕上がりましたが、皆さんおいしそうに、召し上がっていました。その過程を楽しまれたご様子です。サプライズに職員全員がひげダンス（昔ドリフであった）の洋装で登場し、生たまご投げ（ゆでたものもありましたが）を披露、いつのまにかご利用者さんも一緒にひげダンスを踊ってくださっていました。

■みはるの杜診療所：庄司崇浩さん

・22日とんかつ出前企画を行いました。職員9名、利用者10名。食べ足りないという方、量が多くて残したという方、それぞれでした。当日は食べている風景を写真にしてプレゼントしました。

・ガウン作りを職員手分けして行っております。1枚ずつ作製する方が良いのか、パーツごとに分担したほうが良いのか、作業スペースや効率を考えながら試行錯誤中です。

・24日は少人数の手芸企画（ハンドクリーム、ハーバリウム作り）を行いました。追加で4名利用。参加された方は、自分でアロマの香りを決めたり、ハーバリウムの入れ物をデコレーションしたりとそれぞれの個性がでる作品ができあがりました。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・今週から活動の一環として皆さんと一緒に防護服作成に取り組んでいます。「みんなでやると早いからな」と有難いお言葉も頂けました。和裁、洋裁の達人の皆様からは「切り込みを入れた先はガムテープで止めるといいよ」「空気が入らないよう縦、縦に畳んでごらん」とご助言も頂けています。「ポリ袋は滑りやすいからな、しっかり押さえるぞ」と皆様、協力しながら楽しく作業も進んでいました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・職員が防護服を作成していると、ご利用者から「レインコート作ってるの？器用だね」と笑顔で言われました。その笑顔を守り続けたいと思いながらフードも付けたら本当にレインコートになるねと職員の笑顔。

・今週は蕨(わらび)やスナップエンドウを頂きました。ご利用者さんに蕨のあく抜きの仕方を教えて頂き、一晩おいてから皆さんでご馳走になる予定でした。しかし、ご家族様が長持ちするようにしっかりと塩漬けされていたので一晩では塩が抜けずに二日目に頂きました。心待ちにされていただけに、器に盛るとすぐに完食。スナップエンドウはスジを剥いて頂き茹でて食べました。スナップエンドウの香りがホール内を漂いました。

■デイホームいずみの杜：大﨑雅之さん

・今週はホームで手打ちうどん作りを行いました。なかなかまとまらない生地に悪戦苦闘しながら、ご利用者の頑張りもあり満足なうどんが出来上がりました。作業中は「私は冷たい方がいい」、「うどんは温かいにかぎる」など、みなさん盛り上がっていました。同時進行で、デイホームの向かいで収穫したフキで煮物を作り、ゆかりご飯でおにぎりを作り、久しぶりに賑やかな一日になりました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・今週は天気があまりよくはありませんでしたが、ドライブに出かけております。利用者さんからは雨の中のドライブでしたが「ドライブのほうがいい」とのお言葉を頂いています。日々の日常に戻りたいと感じながら今後も換気や手洗いなど予防の徹底を行いたいと思います。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・今週は天気に恵まれませんでしたが、昨日久しぶりに天気が良かったので機能訓練の一環で散歩に出かけました。お年寄りも「とても気持ちがいいね。コロナも落ち着いてきてやっといつもに戻ったね。明日はお茶会だけど何するの？楽しみにしているね」とスタッフとお年寄りの会話が弾んでおりました。引き続き、散歩等、出かける機会（リハビリの一環）を作り、お年寄りの在宅生活を応援して行きたいと思います。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・ユニットで初めて予防衣を作りました。70ℓのゴミ袋を広げられるテーブルは利用者さんの使うテーブルしかなく、利用者さんがホールに少し減ったタイミングで始めました。残っている方にも今から予防衣を作るため、テーブルを借りる事を説明し「いいよ。何作るの？」等と言われ、始めて作るから見ててね。等と会話しながら、職員3名で見本の資料と動画を見ながら、こうか？あれ？どうなってる？見本みるか。あ！こうだ！等と言いながらようやく1着。その後は二手（2：1）に分かれて作業を分担しながら作成していると、何も言わずそっとビニールを押さえてくれる利用者さんが。お礼を言うと「何作ってんだ？ごだ出っかい袋で」と。再度説明し、その後もそっと手を添えて、切りやすいように、線を引きやすいように黙々と手伝ってくれました。予防衣もこうやって一緒に作れるんだ。それも関わりになるんだなと思った時間でした。実際に着用し利用者さんに見せると、苦笑いでした。本日は13時から東京にいる娘さんとZOOMで面会をする予定の方が1名います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・21日午後の時間を使い利用者さんと職員が一緒にお菓子作りを行いました。準備の段階から利用者さんにもお手伝いを頂き、会話を交えながら楽しくお菓子作りを行いました。完成したマフィンをみんなで美味しく食べて頂きました。ご自宅でも危ないからと言って調理をさせて頂けないのが現状だと思いますが、まだまだ皆さんは上手に調理を行うことが出来ていましたので今後もみなさんが活躍できる環境を提供し楽しく過ごせる時間を一緒にを定期的に実行していきます。

■老健希望の杜：佐久間淳さん

・先週の金曜日よりご家族の面会を再開しております。希望の杜は多床室が主であり、他者との接触を避けられないため、1階の相談室で面会をしていただいております。Bさんは、久しぶりに奥さんと会うことができて涙を流し喜んでいました。金曜日から3日間で7組のご家族が面会に来られ、ご本人と繋がることができています。土日は特に面会の希望が多いため、事前に連絡を取り時間をお聞きし、SECTION上に作成したタイムスケジュールにて2階フロア3階フロアが予定を共有することで、スムーズな面会となるよう心がけています。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・段階的な面会解除のご案内を家族さんに送らせて頂き、さっそく何名かの家族さんが面会に来られています。原則、居室で面会していただいています。面会された方は、家族さんの顔をみたり、お話されて安心されたようでした。また、Hさんがアメリカにいる娘さんとZOOMを使っての面会を行いました。お互いに不慣れな所もあり、つながるまでに時間もかかりましたが、なんとか面会できました。これからは次回の予定を組みながら定期的にお話ができそうです。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・5/21たこ焼き作りを行っています。利用者さんからも「たこ焼き食べたいね。」との希望もあり、企画し行いました。働き者の利用者さんばかりなので、仕事を分担しながら、皆さんでたこ焼き作りを行っていました。具材は、ソーセージやチーズ、チョコレート、マシュマロなど、いろいろな具材を使用しました。利用者さんの中には、家で作ったことあるけど、失敗してしまってこんなに上手に作れてうれしい！ととても喜ばれている利用者さんもいらっしゃいました。夕飯食べれるのか、心配になるほど、皆さんたくさん召し上がっていました。2階の利用者さんも一緒に参加して和気あいあいと、楽しい時間を過ごされていました。オープンしてから、大きなイベントがなかなか行えずにいたので、皆さんで楽しい時間を過ごせて、とてもよかったです。今後も、利用者さんの希望を伺いながら、楽しんでいただけるイベントを一緒に考えていきたいと思います。

**【5月25日～5月31日】**

■介護老人保健施設希望の杜通所リハビリテーション：髙橋　秀和さん

・どんどん焼き作りのイベントを行いました。密着しないように人が集まらないように少人数でコンロを囲んだり、時間をずらして少人数で材料を切ったりなどの工夫を行いました。普段は寡黙なお年寄りの女性ですが、ネギを切ったりどんどん焼きの生地を丁寧にフライパンに伸ばしたりする姿があり、ほかのお年寄りから尊敬の念を受けている印象を受けました。

・毎日のように苗を買いに行き（コロナウィルスがある為スタッフが買い物に行っています）畑にジャガイモやキュウリの苗を植えています。あるお年寄りは昨年の豪雨で畑に漂着していた大量のワラやゴミを集めてくださり一か所にまとめていただき、延びていた樹木の剪定も行っていただきました。

■グループホーム「けやき」：大﨑美智子さん

・タブレット導入にて、ZOOMでのご面会以外にテレビでは放送されていない昔懐かしい歌手の歌番組や動物好きの方が好まれるような動物とのふれ合い番組を一緒に視聴させていただいています。「わ～この歌知ってる～」と笑顔で話されたり、動物の仕草を観て「めんこいな～」と表情が穏やかになる様子をみて、職員も一緒に楽しませていただいています。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・Mさんは環境の変化により最近落ち着かない様子が度々見られています。お花と会話も好きなことからドライブに声掛けさせて頂くと「たまにはいいですね」とのことで、泉ヶ岳方面にドライブへ出かけました。途中ツツジがたくさん咲いている公園が目に留まりしばし眺めました。公園内に一周ツツジが咲き誇っており「今の季節はツツジがきれいよね。白もいいわね」と話しをされておりました。泉ヶ岳へ再出発しどこか行きたい所がないかお聞きすると「こうして自然を見ながら何気なくおしゃべりしているのが一番だよね」としみじみお話し下さり、健康や人生のことなど色々と教えて下さいました。山頂に差し掛かると途中雨模様もある中虹がうっすらと出ており、貴重なことと外に出て写真を撮るも虹は写らず。雨も降ってきたため山を下っていくとまた虹が見えて、結局帰り道でも4回虹を見ながらの小旅行でした。「今日は本当に良かったです。お陰様でした、ありがとうございます。今度は天気のいい日にまたお願いします」と、とてもすっきりした表情でご自宅に帰られました。コロナ対策と事業所運営に力を注いでいき、利用者さんの貴重な時間に何かお手伝いさせて頂けるよう、皆さんと考え行動していきたい。

■ゆかりの杜：加藤知佐さん

・30日ゆかりの杜最年長女性の誕生日会開催。「私○○さん本人に仮装する」という理恵さんの言葉を合図に急きょ結花さんもボディコン仮装、山崎さんの女装ドレス姿で職員が登場。ご本人はもちろん大喜びで、周囲の方も大盛り上がり。馬に扮した紺野さんが登場すると「馬、こっち来い！」と大人気で笑いに満ちた一時でした。お開きの後も「こんな素晴らしい誕生会は初めてです！」と誕生者以外の方も涙を流され感動されておりました。最近自粛し静かに過ごしていた為か、帰宅時の送迎車内は「これだよ、これがいいんだよ！」「今日はいい日だった！」誕生者は「誕生日ここで過ごしてよかった」と弾む声が聞かれたようです。職員からは「これがゆかりの杜だよね」「久しぶりに楽しかった」と帰宅時の表情もキラキラ輝いていました。新型コロナが小休止の今だからできることを一緒に楽しんでいきます。

■デイサービスみやぎの杜：髙橋美也子さん

・緊急事態宣言が解除され、仙台では以前よりも安心して過ごせるような雰囲気が出てきたようです。ご利用者さんからもどこかに行きたいと声が上がるようになり、先週は少しずつ外出も出来るようになりました。園芸センターのバラや、自然を満喫できる公園など、移動中の車内の三密に配慮しながらも、『今だけ』限定の幸せを満喫しています。　もちろん、利用者さんの中にも以前のような過ごし方をすることにまだ不安がある方もいらっしゃると思いますので、個別にお話しを伺いながら、皆さんが安心して楽しめるように配慮していきたいと思います。

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・いつもTさん,Oさん、Kさんがデイの体操に参加しています。デイの入口に入ったところ、Tさんが設置してある消毒の前で止まりやるんだなと消毒をしてくれました。毎回声を掛けていた為、習慣化していたようです。思わず、素晴らしいですねと声をかけました。　手洗いや消毒も少しづつご利用者へも習慣となってきているようです。

・区長さんからいただいた花植えを玄関先で日光浴をしながら行いました。色の組み合わせから一つ一つご利用者に決めて頂き行いました。　さくらGHの玄関先からデッキの前と沢山の花が咲いています。



■グループホームはるかの杜：木村優さん

・東京にいる娘さんと電話をし、受話器をおいた瞬間、涙ぐまれる入居者さんがおりました。ニュースを見るたびに娘さん、お孫さんのことが気になっていて声を聞いて安心されたようです。（翌日も昨日はありがとうございましたとお礼）今週、ZOOMを行う予定。その方は遠慮しながら日々、GHでの生活送っているような気が致します。改めて声にしていない想いを知る必要があると痛感致しました。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・ご利用者と一緒に5月の中旬にヒマワリを植えました。少しずつ成長してきているヒマワリをご利用者と一緒に眺めながら「ヒマワリが咲くころにはみんなで美味しいものを食べに行けるようになるといいね」と、どこに食べに行くかをいつの間にかご利用者同士で話し合いが始まっていました。また、ご利用者の方々がデッキで日光浴をしているとＧＨのご利用者もいらして、久しぶりの再会で会話が盛り上がっていました。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・定期的におやつ作りを行っていますが、今週は皆さんで白玉あんみつ（アイス添え）を作りました。おやつ作りを行った曜日が皆さん作るのがお好きな人達ばかりで、にぎやかなおやつ作りになりました。６月も行います。また栄養士の矢倉さんにもお手伝い頂いています。スタッフも事前に利用者さんに何を作りたいか、何が食べたいか伺ったり、スタッフ同士で話し合いを行ったりと良い表情な姿があります。今後も利用者さんがやりたいこと、お好きなことを沢山出来たらと思っています。

・DデイのOさん、何度もお知らせしていますが、今回は老健入所の方のお部屋の洗面台から水漏れがあり、部品を外して修繕、GHいずみの杜の前にあるごみ箱を新しく作って頂いています。事前に設計図を描き、工具をご自宅から持ってこられ、組み立てをある利用者さんが眺められて「俺にはできないな～」と笑っておられました。奥さんのKさんも慣れ、食器洗いやマージャンなどご夫婦で別で過ごしながらも、１日を充実させています。他の利用者さんたちにも充実した１日を送って頂けるようにしていきたいです。



■ケアハウスいちいの風：亀澤加代さん

・面会が緩和され、活気が戻ってきたように思います。29日、Ｋさんのお誕生日、ホールでみんなでお祝いしようと準備していると、息子さんがお花を持って面会に来られました。どんなものにも代えがたい、ご家族の存在、息子さんのご面会そのものがお誕生日の贈り物になったと感じました。水際対策を講じながら、良い時間を過ごしていただけるよう努めていきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・Hさんのアメリカの娘さんとのZOOMを使用しての面会2回目を行いました。顔をみてお話しできたことで、ご本人も娘さんも安心されたようでした。7日にも面会を予定しており、今後も週に1回程度出来ればと思います。

■ショートステイみはるの杜：濱松良樹さん

・31日午前中の時間を使い利用者さんと一緒に松島までドライブに出かけました。天気も良く暖かくドライブには最高の条件であり、利用者さんからは景色も良く気持ちがいいねとの声が聞かれていました。久しぶりに松島に来れて良かったと言う感想も聞かれ参加された５名の利用者さんそれぞれに喜んで頂いた様です。やはり、外に出ることは気分転換には一番ですね。今度は、多賀城のあやめの花を見に行きたいと思います。

■グループホームかぐらの杜：野本麻未さん

・26日2階ユニットで、一口ケーキパーティーを行っています。以前1階でも行いましたが、利用者さんも楽しみにされていました。皆さんで作業を分担しながら、にぎやかな分囲気で行われています。好評で、「おいしい」「お腹一杯になった。」と話されながら、たくさん食べれていました。今後も利用者さんの意向を聞きながら、季節感のあるイベントも行っていけるように、スタッフと利用者さんと話し合い企画していきたいと思います。

同日、中嶋病院から退院された利用者の方がいらっしゃいました。大阪に住む娘さんは、コロナの影響もあり、入院されてからも、病院からも面会禁止との話があり、会うことができず、主治医の先生とも電話でのやりとをされていました。退院の際も大阪からくることができず、ZOOMにてお話されています。GHに帰られてから、帰らないと、と心配されていた様子ですが、娘さんの顔を見て話しして、笑顔も見られるようになりました。「今度いつ来るの？」と娘さんに話しかけ「来月いくからね。」と話をされると「なにかおいしいも物もってきてね。」と笑顔で話されています。実際に顔を見て話ができて家族も安心された様子でした。

■介護老人保健施設さくらの杜：佐藤まゆみさん

・ご家族との面会が再開して、面会のビフォーアフターでご利用者の表情が変わっているのがわかります。１階の応接室で面会していただいているのですが、ユニットに戻られる顔が明らかに晴れやかです。約３ヶ月ぶりに会えた感動、安堵感、喜びが溢れます。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・畑を耕したり、お花に水やりをされたり、お年寄り自らお外への活動に向かわれる姿が増えてきております。

お花や畑に植える苗など、職員のお庭に咲いていたものや種がこぼれて発芽した青じそ、朝顔を持ち寄りスタッフと一緒にお手入れしています。お店で買うものよりスタッフから頂いたとお年寄りも大切に育てようとする姿が見られています。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・ご利用者の声より25日にお茶会を企画し、実施いたしました。大規模なイベントではありませんが、スタッフの方でご利用者が喜んでいただけるように準備しておりました。当日は、抹茶とお菓子を食べながら、スタッフの芸を見て楽しんでいただきました。ご利用者からも、「なっちゃんが上手に皿回ししていると思ったら糸ががついていたんだよ。上手く考えたなぁ」「さくらデイのスタッフは櫻井さんの教育の影響か芸達者な人が多いなぁ（笑）」「みんな一生懸命だし、面白くていいね。お茶会とても楽しかったよ。また、企画してね」と初めての企画で不安な点もありましたが、かなり大好評で一安心しております。引き続き、ご利用者へ楽しみ等を届けられるようにスタッフと日々検討して参ります。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・始めてＺＯＯＭを使用し、東京の娘さんと面会をしました。「久しぶりに顔見て、声聞けて安心したよ。いい顔してるし、色々活動してる事や写真も職員さんが送ってくれるから、離れててもお母さんの様子が目に浮かぶね」等と娘さんに言われ「お母さんは元気だよ。ここの人と仲良く楽しくやってるから、何も心配しなくて大丈夫だから。そんな事より○○君（お婿さん）に宜しく伝えてね。」等と。その後15分程会話を楽しみましたが、ことあるごとに「〇〇君にちゃんと食べさせてる？」「〇〇君にちゃんとお礼伝えてね」「〇〇君…○○君…」と、娘さんの事よりも、お婿さんのことを何度も気にかけていました。「だった、〇〇君に食べさせてもらってるんだからさ」等と、母親の一面が強く出ていました。娘さんの事も心配しなくていいの？と職員が言うと「アハハ！そうだか！でもあの子は私に似て大丈夫だから！」等と言われ、モニター越しに母娘でお互い大笑いしていました。また、日程を合わせてモニター越しの面会をする予定です。その他、予防衣作りも利用者さんと一緒に頑張って作っています。今日は、青梅を買ってきました。今後梅シロップ作りをしたいと思っています。

■介護老人保健施設希望の杜：佐久間淳さん

・先週は8組のご家族が面会にいらっしゃいました。フロアだけではなく１階の総務も協力し、事業所全体で本人・家族との繋がりを応援しています。「コロナ次第で次は会えないかもしれないな」と不安な声もあります。今後はまだまだ不透明ですが、小休止である今だからこそできることを大切に、その時々でタイムラグが起きないよう迅速に対応していきたいと思います。

・「シドケが食べたい」３階のSさんからお話をいただき、28日に2階3階合同でドライブに行きながら、南川ダムにある直売所で山菜を買ってきました。当日は天気にも恵まれ、屋外でソフトクリームに舌鼓。お目当てのシドケに加えてワラビも購入し、希望の杜に帰ってから皆さんで調理した後召し上がっていただいております。

